

【一般会計決算状況】

区分	令和4年度	令和3年度	差引額	増減率
歳入（収入）総額	93 億 5,079 万円	93 億 2,229 万円	2,850 万円	0.3%
歳出（支出）総額	89 億 7,290 万円	91 億 6,525 万円	▲1 億 9,235 万円	▲2.1%
歳入歳出差引額 ①	3 億 7,789 万円	1 億 5,704 万円	2 億 2,085 万円	140.6%
翌年度への繰越財源 ②	1 億 7,203 万円	4,633 万円	1 億 2,570 万円	271.3%
実質収支 ①－②	2 億 586 万円	1 億 1,071 万円	9,515 万円	85.9%

【特別会計決算状況】一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	17 億 8,025 万円	17 億 3,666 万円	4,359 万円
学校給食特別会計	5,960 万円	5,960 万円	0 万円
農業集落排水事業特別会計	3,911 万円	3,911 万円	0 万円
介護保険特別会計	17 億 3,571 万円	16 億 8,195 万円	5,376 万円
後期高齢者医療特別会計	2 億 5,318 万円	2 億 4,862 万円	456 万円
水道事業会計	2 億 1,297 万円	1 億 7,233 万円	4,064 万円
病院事業特別会計	18 億 1,216 万円	17 億 4,003 万円	7,213 万円

（水道事業会計・病院事業特別会計は収益的収支を記載）

◆ 健全な財政状況 ◆

実質収支は黒字であり、健全化判断比率は全ての指標が健全化への取り組みが必要な基準（早期健全化基準、経営健全化基準）を大幅に下回っているため、健全な財政状況を維持しています。実質公債費比率が高いと町財政に対する借金の負担が多いということになりますが、令和3年度より 0.9 ポイント上昇したものの、10 年間で 13.7% から 4.2% へと改善されています。

今後も、新文化拠点整備事業や高知県管理型産業廃棄物最終処分場建設に伴う地域振興策等に係る事業の財源として町債を借り入れる予定ですが、町債の償還金の一部が地方交付税として国から交付される有利なものを活用する等、一時的に償還額が増加するものの今後の償還金が町の財政に大きく影響を与えることはないと思込んでいます。

また、基金は財政運営を計画的に行ったり、特定の目的のために積立や取崩を行ったりするもので、令和4年度は新文化拠点整備や公共施設の老朽化対策等に備えるため、施設等整備基金へ約 2 億円を積み立てました。今後も健全な財政運営を行っていくため、適正な基金残高の維持に努めます。

【基金（貯金）残高】

会計名	令和4年度	令和3年度	差引額	増減率
一般会計	59 億 8,526 万円	56 億 5,606 万円	3 億 2,920 万円	5.8%
（うちふるさと納税寄附金基金）	4 億 6,598 万円	3 億 6,219 万円	1 億 379 万円	28.7%
国民健康保険特別会計	7,484 万円	7,128 万円	356 万円	5.0%
農業集落排水事業特別会計	5,675 万円	5,709 万円	▲34 万円	▲0.6%
介護保険特別会計	3 億 196 万円	2 億 7,069 万円	3,127 万円	11.6%

※引き上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費については、町ホームページにて公表しています。

令和4年度は、「まきのさんの道の駅・佐川」、「おもちゃ美術館」の開業、連続テレビ小説「らんまん」放送開始に向けて、佐川町道の駅建設工事、牧野富太郎博士顕彰事業を行うとともに、新型コロナウイルス感染症対策や町民の皆様の安全・安心の確保、健康・福祉に関する取り組みを行いました。

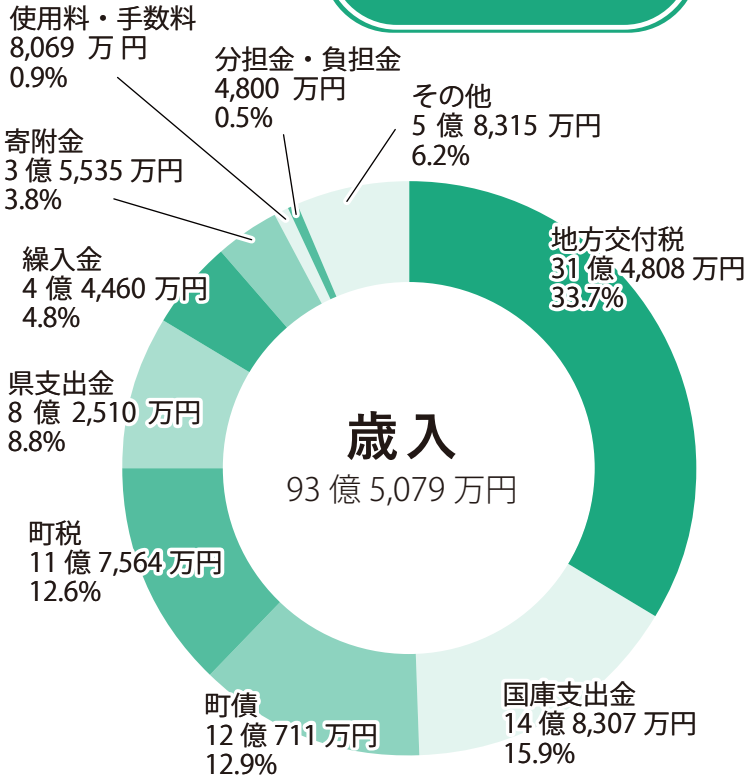
＼ 歳入のポイント ＼

町債は、佐川町道の駅整備事業により令和3年度より 1 億 6,295 万円増加しました。また、国庫支出金は、新型コロナウイルス対策費補助金の減により、1 億 3,514 万円減少しました。地方交付税は、普通交付税の減により、7,567 万円減少しました。

＜ 歳入 ＞用語の解説

- ・地方交付税…財政力に応じた国の交付金
- ・国庫支出金…国からの交付金・補助金
- ・町債…長期借入金
- ・町税…町民税・固定資産税
- ・県支出金…県からの交付金・補助金
- ・繰入金…特別会計繰入金・基金繰入金
- ・使用料・手数料…住宅使用料・施設使用料
- ・分担金・負担金…保育所負担金・工事負担金
- ・その他…地方譲与税・諸収入等

令和4年度
決算
報告



＜ 歳出 ＞用語の解説

- ・民生費…高齢者福祉・保育所
- ・総務費…財産管理・選挙
- ・商工費…観光・商工振興
- ・衛生費…予防接種・ごみ処理
- ・土木費…道路・住宅の維持改良
- ・教育費…小中学校・文化施設
- ・農林水産業費…農林業振興・施設整備
- ・公債費…借入金の返済
- ・消防費…防災対策・消防活動
- ・災害復旧費…農林・公共施設災害
- ・議会費…議員報酬・議会運営

＼ 歳出のポイント ＼

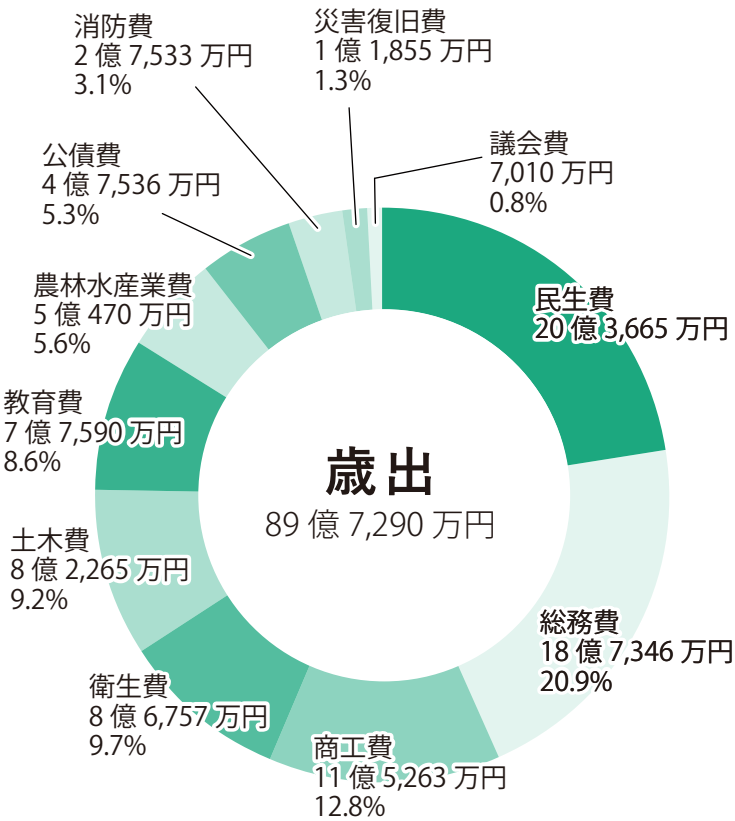
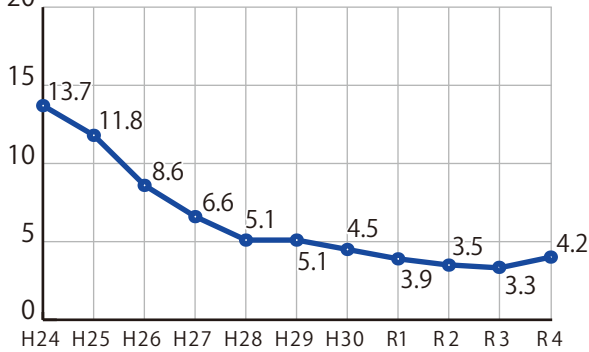
商工費は、佐川町道の駅整備事業や牧野富太郎博士顕彰事業により、9 億 4,473 万円増加しました。また、総務費は、基金積立金や新型コロナウイルス対策費補助金の減により、8 億 1,141 万円減少しました。

財政健全化判断比率

危険信号

指標	内容	佐川町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	4.2%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	該当なし	350%

実質公債費比率の推移（H24～R4）



令和4年度の 主な事業

指定避難場所網戸設置工事 813 万円

感染症対策として、指定避難所6カ所において網戸の設置を行いました。今後、避難所として使用される際、虫の屋内流入を気にすることなく、窓を開放した換気が可能となり、感染症拡大防止につながる対策を実施しました。

地域公共交通事業 3,650 万円

住民の移動手段を確保するため「さかわぐるぐるバス」や路線代替バスを運行しています。
令和4年度のさかわぐるぐるバスの1便当たりの乗車人数は2.46人（令和3年度比+0.13人）と微増となっており、地域の移動手段として欠かせないものとなっています。
令和5年度には利便増進実施計画を策定し、より多くの住民に利用してもらえるよう利便性の向上を図っていきます。

牧野富太郎博士顕彰事業 1 億 3,979 万円

連続テレビ小説「らんまん」放送開始に向けた牧野博士の顕彰及び博覧会事業の開催に伴い、観光客の受け入れ体制を整えるため、町内施設のリニューアルなどの環境整備や情報発信など案内機能の強化、展示物等の充実を図りました。

あったかふれあいセンター事業 4,905 万円

誰もが気軽に集い必要なサービスを受けることができる地域福祉の拠点として、町内5カ所（尾川、斗賀野、黒岩、加茂、佐川）で地域のニーズ把握や課題に取り組む活動を行っています。
地域における高齢者の集いや生活支援の場として定着し、介護予防の推進に寄与しています。地域包括支援センター等とのスムーズな連携により、利用者支援の質的向上につながっています。

保育所副食費・学校給食費無償化事業

4,488 万円
子育て世代への支援として、保育所の副食費や学校給食費の無償化を実施しました。併せて、町立学校外通学・弁当持参家庭への給食費見合い補助を実施しました。

佐川町道の駅・おもちゃ美術館事業

9 億 6,480 万円
「まきのさんの道の駅・佐川」や「おもちゃ美術館」の開業に向けて、運営組織である一般財団法人しあわせづくり佐川の組織体制の構築、充実を図り、建物建設工事や「霧生閑遊具公園（仮称）」の設計等を実施しました。
また、おもちゃ美術館の木造作物の設計や整備、木育キャラバン、おもちゃ学芸員養成講座を実施しました。



※道の駅 オープン（6月25日）

道路橋梁維持費・道路施設修繕事業

・地方道路交付金事業 5 億 5,170 万円
（うち地域振興策1億5,727万円）
町道や橋梁、トンネルといった道路施設では、老朽化に伴う影響が数多く発生しています。これらの維持・補修・修繕を計画的に行うことで町民の皆様の通行の安全を維持しています。

学校教育改善重点推進事業 5,187 万円

学力向上、不登校対策を実施するため、特別支援員を配置し、研修を実施しました。また、基礎学習支援員（すまいる一む）を配置したことで、小学校では落ち着いて授業を受けることができるようになっています。
その他、保小連携プログラムの実施、発達障害（傾向）の子ども（及び保護者）支援の実施、PBL（課題解決型学習）やプログラミング的思考教育の実施など学校教育の改善を図るよう取り組みました。

◆新型コロナウイルス感染症に対応した取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大防止と感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援するため、特別臨時給付金の支給をはじめ、学校等へ感染防止対策を講じるほか、地方創生臨時交付金等の国庫支出金を活用し、様々な事業を行いました。主な事業は次のとおりです。

地域経済活性化応援事業

（商店街プレミアム商品券事業） 5,742 万円

原油高・物価高騰で生活に困窮している町民の支援のため及び新型コロナウイルス感染症の影響で激減している地元商店の来店者数を回復させるために実施しました。

地域経済活性化応援事業

（農業経営継続支援金事業） 1,200 万円

新型コロナウイルス感染症等の影響により、肥料や燃油、資材などの価格が高騰し、経費の増大による農業経営の継続が懸念されることから、農業者や集落営農組織に対して支援金を支給しました。

チーム佐川支えあい事業

1,774 万円

佐川町社会福祉協議会が行う「コロナに負けん！チーム佐川支えあい基金事業」の原資の一部として補助金を交付。所得が減少した事業者及び世帯に対して支援を行うもので、町民の皆様からも広く寄付を募り、町民みんなで支え助け合う制度として、給付金を支給しました。

小さな拠点感染防止推進事業

2,409 万円

高齢者等が集う地域福祉拠点（あったかふれあいセンター）及び地域の支えあいと学びあいの活動拠点（集落活動センター）における感染防止対策として、屋内での集いと交流活動促進を図るための施設の増築工事を実施しました。

◆ふるさと寄附（納税）についてのご報告

ふるさと寄附は、故郷や応援したい自治体に寄附できる制度です。佐川町でも、この制度により、寄附者の拡大、リピーターの確保、返礼品の充実を図り、町のPRや自主財源確保につなげています。令和4年度は「らんまん」の放送決定に後押しされたこともあり、多くの佐川町ファンの方に応援していただき、寄附受入額は過去最高額となりました。全国の方目に触れる機会が増加し、町のPRを図ることができました。
全国から集まった寄附金は、よりよいまちづくりのために、以下の事業に活用しました。

令和4年度の寄附金総額
3 億 5,262 万 263 円

令和4年度の寄附金件数
1 万 9,440 件

令和4年度にふるさと寄附金を活用した事業

交通安全・防犯・防災・減災の推進に関する事業

230 万円

防犯対策事業（防犯カメラ設置）

医療・福祉・子育ての充実に関する事業

899 万円

おもちゃ美術館整備委託料、乳幼児・児童医療費

教育・文化・スポーツの振興に関する事業

3,817 万円

新文化拠点実施設計委託料、斗賀野小学校創立記念事業負担金

産業・観光の振興に関する事業

2,429 万円

道の駅財団法人運営費補助金、牧野公園管理道災害復旧工事

“まちまるごと植物園”への活用

植物学者・牧野富太郎博士のふるさと佐川町で、町民が行っている植物に関わる活動を町全体で植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりあう“植物のまち”を目指した取り組みを進めています。“植物のまち”として、さらに取り組みを展開していくために、寄附金のうち100円を牧野富太郎博士に関する事業に活用させていただいています。

令和4年度人気のお礼品
申込件数ランキング

第1位



麦藁焼
特選鯉のたたき

第2位



天然酵母ベーグル
セット

第3位



ブルーベリー

第4位



うつぼのたたき

第5位



フルティカトマト